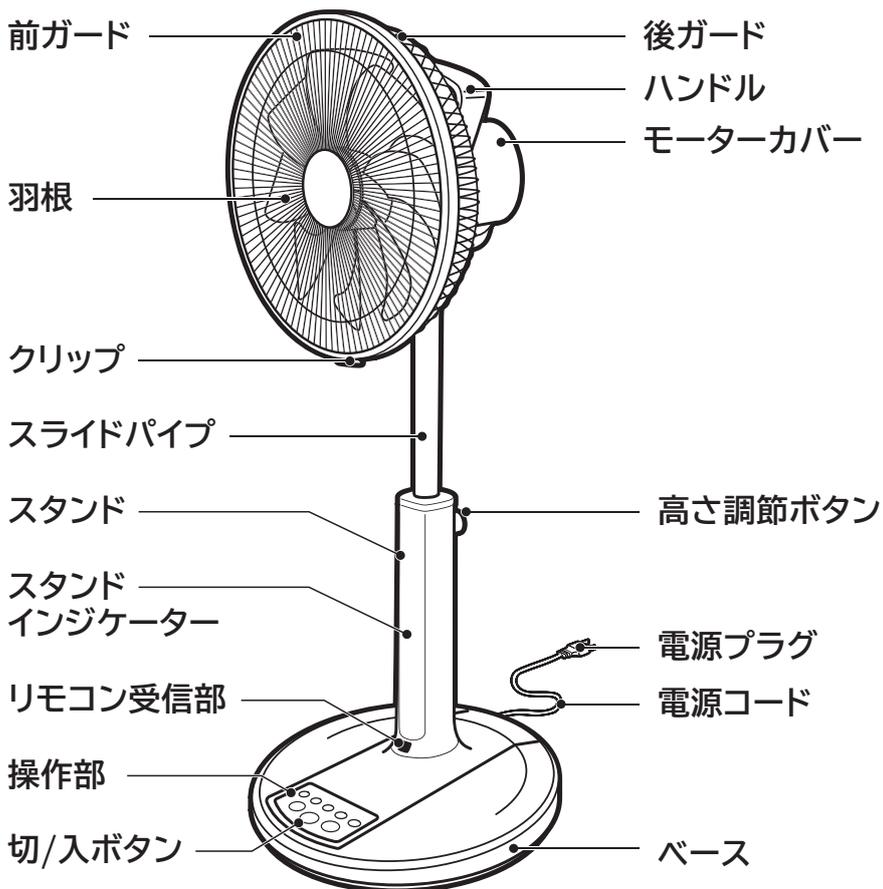


各部のなまえとはたらき



ハンドルの持ちかた

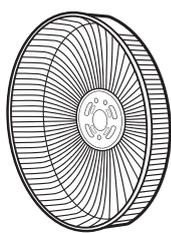
●本体前方からハンドルを持ってください。

同梱品

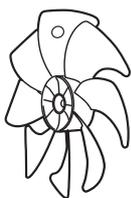
前ガード



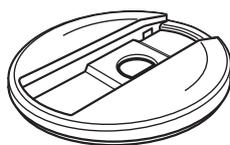
後ガード



羽根

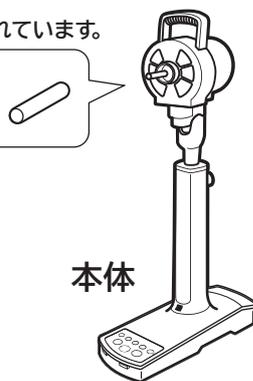


ベース



本体に取り付けられています。

モーター軸
カバー



本体

下図は緩衝材の中に収納されています。

リモコン



二酸化マンガン
リチウム電池CR2025



(リモコン動作確認用)
※リモコンに入っています。

リモコンホルダー



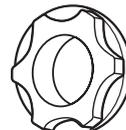
羽根
キャップ



ガード
固定リング



ベース
固定リング



警告

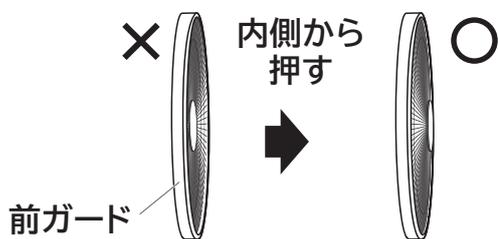


●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かない

電源コードを引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

前ガードについて

- 真横から見て凹んでいる場合は内側から押して直してください。
- 真横から見て少し膨らみのある状態が正常です。



ご注意

- 前ガードが確実にはめ込まれていないと、前ガードが外れ、けがをするおそれがあります。
- 前ガードが凹んだ状態で取り付けないでください。前ガードの凹みを直してから取り付けてください。破損の原因になります。

高さ調節ボタン

- 高くする場合は、高さ調節ボタンを押しながらスライドパイプを上げ、高さを調節します。高さを固定できるのは、6段階です。低くする場合はハンドルを持って低くしてください。



ご注意

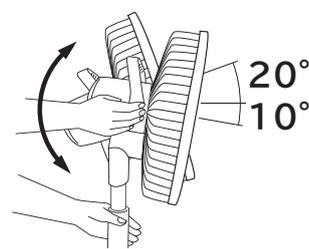
- 高さ調節時は、指などははさまないようにご注意ください。

風向を調節するとき

左右に調節



上下に調節



お願い

- 風向きを調節するときには、一方の手でスタンド部を支え、もう一方の手でモーターカバーを持って、左右・上下に動かします。

警告



- スライドパイプを縮めたままお手入れをしない
誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをするおそれがあります。

禁止

注意



- 運転中は、ガード部を持って風向き(上下左右方向)を変えない
けがをするおそれや羽根が破損する原因にもなります。

接触禁止

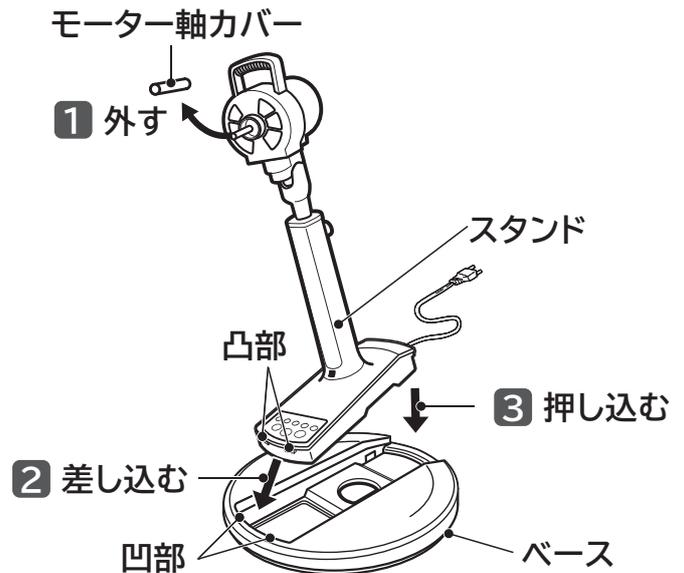
組み立てかた

包装箱は保管のときに必要ですので、捨てないでください。

1

ベースにスタンドを取り付けます

- 1 モーター軸カバーを外します。
- 2 ベース・スタンドそれぞれの「まえ」「うしろ」表示で方向を確認し、ベースの凹部にスタンドの凸部を差し込み、ベースにスタンドをはめ込みます。

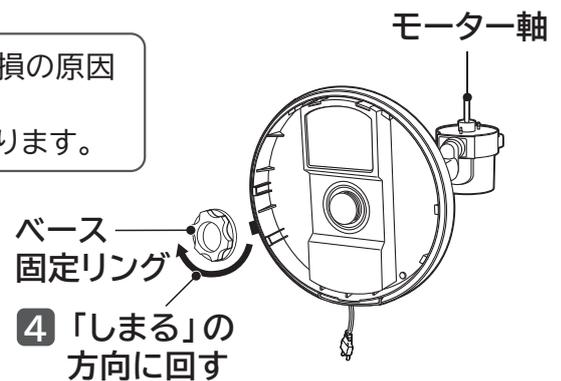


- 3 ベースとスタンドの段差が無くなるようにスタンド「うしろ」側を押し込みます。

ご注意

- スタンドをベースに無理に差し込まないでください。破損の原因になります。
- ベース・スタンドの方向を間違えると、破損の原因になります。

- 4 スタンドがベースのフック部にはまっていることを確認し、ベース固定リングを「しまる」の方向に回して、しっかりと締め付けてください。



ご注意

- 組み立て中に高さ調節ボタンには触れないでください。けがや破損、故障の原因になります。
- ベース固定リングを確実に取り付けしていないと、スタンドが外れ転倒や落下などによるけがや破損、故障の原因になります。

お知らせ

- ベースにスタンドを取り付けた時に、多少段差が生じる場合がありますが異常ではありません。

2

後ガードを取り付けます

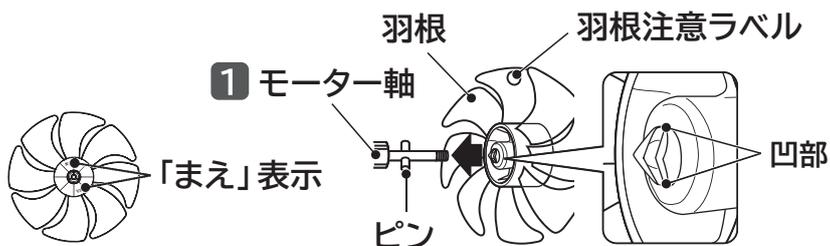
- 1 モーター前面の凸部（3か所）を後ガードの穴（3か所）に合わせて差し込みます。
※使用しない穴が1か所あります。
- 2 ガード固定リングを「しまる」の方向に回して確実に締めつけます。
※後ガードとモーターカバーの間に隙間があると、けがをするおそれがあります。



3

羽根を取り付けます

- 1 羽根の「まえ」表示で方向を確認し、モーター軸のピンと羽根の凹部が合うように、羽根をモーター軸に差し込みます。



- 2 羽根を押さえながら、羽根キャップを「しめる」の方向に回して、確実に締め付けます。



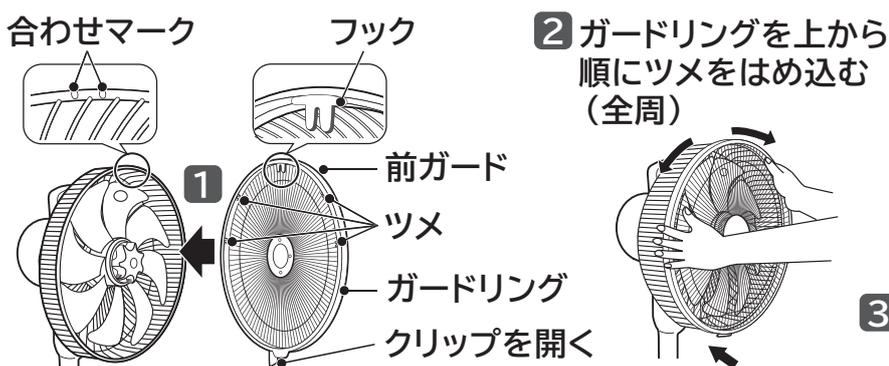
ご注意

- 羽根キャップが確実に締めつけられていないと、羽根ブレが生じます。また、羽根が外れてけがをするおそれがあります。
- 組立、分解時にモーター軸やピンなどでけがをしないよう、取り扱いにはご注意ください。
- 羽根を反対に取り付けると羽根キャップが取り付けできません。
- 羽根注意ラベルは、法による表示ですのではがさないでください。簡単にはがせないように接着しています。

4

前ガードを取り付けます

- 1 前ガードについているガードリングのフックを後ガードの合わせマークに合わせて取り付けます。
- 2 後ガードを押さえ、前ガードを押してガードリングを後ガードに上から順にツメを全周はめ込みます。
- 3 クリップは後ガードをはさみ込むように「パチン」と音がするまで確実に押し込みます。
- ※クリップが押し込みにくい場合はクリップを開きながら押し込んでください。その際「パチン」と音はしません。



- 3 クリップを「パチン」と音がするまで押し込む

警告



禁止

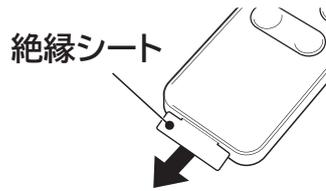
- 組み立てが完了するまではコンセントに電源プラグを差し込まない
感電やけがをすることがあります。
- 羽根、ガードを付けずに運転しない
モーターが過熱して故障したり、けがの原因になります。
- ベースを付けずに運転しない
転倒し、けがの原因になります。
- 羽根、ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない
モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、ステップルや釘などで固定しない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

リモコンの準備

1

ご使用の前に

リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。



ご注意

- 電池はリモコンに入っています。自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

お願い

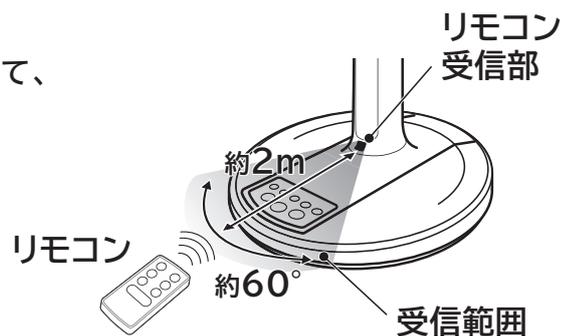
- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは、取り出しておいてください。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、(+) (-) を正しく入れてください。
- 充電・ショート・分解・火への投入・加熱はしないでください。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。また、破損の原因になることがあります。

2

使用範囲

リモコン送信部をスタンドのリモコン受信部正面に向けて、お望みのボタンを押します。

※リモコンで操作できる距離はリモコン受信部正面で約2m以内です。リモコン受信部に対して斜めになるほど、操作できる距離は短くなります。
(距離：約2m、水平方向左右：約60°)



ご注意

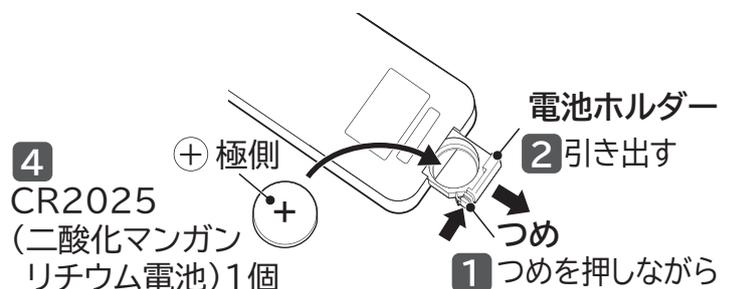
- インバーター照明器具を使用している部屋や、リモコン受信部に直射日光などの強い光が当たる場所では、リモコンで操作できないことがあります。
- 扇風機にさわっているときは、リモコンを操作しないでください。
- 指定されたリモコン以外は使用しないでください。

お願い

- 動作しにくくなった場合は、電池を交換してください。
- 送信部とリモコン受信部の間に障害物がないようにしてください。

電池の交換のしかた

- 1 つめを押しながら、
- 2 電池ホルダーを矢印の方向に引き出します。
- 3 古い電池を取り外します。
- 4 新しい電池を正しく入れ、裏ふたをしめます。
(⊕極を上にして正しく入れる)

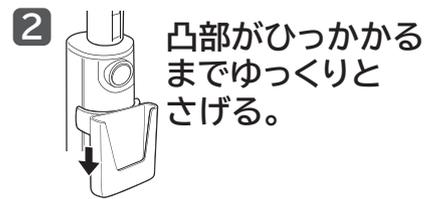


リモコンの収納

リモコンを使用しないときは、リモコンホルダーに収納してください。

リモコンホルダーの取り付けかた

リモコンホルダーは図のようにスタンドにはめ込みお使いください。



ご注意

- 組み立てが完了するまでは、リモコンホルダーを取り付けしないでください。
リモコンの落下によりけがや破損・故障の原因になります。

警告



禁止

●電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。また、乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。

●電池は誤った使い方をしない

*指定以外の電池を使わない。 *加熱・分解したり火の中に入れてりしない。
* (+) と (-) は逆に入れない。 *ネックレスなどの金属物といっしょにしない。
液もれ・発熱・発火・破裂などの原因となります。



指示

●電池の液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す

万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。
失明の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	絵表示の説明
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
		 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告

感電、けがを防ぐために (感電・けが・発煙・発火・火災のおそれ)



分解禁止

- 改造をしない
- サービスエンジニア以外の人、絶対に分解したり、修理しない
火災・感電・けがの原因になります。



電源プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る。ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。



禁止

- 羽根、ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない
モーター部分が飛び出して、けがの原因になります。
- 羽根、ガードを付けずに運転しない
モーターが過熱して故障したり、けがの原因になります。
- ベースを付けずに運転しない
転倒し、けがの原因になります。
- 組み立てや取り外しの際は、電源プラグを差し込まない
感電やけがの原因になります。
- スライドパイプを縮めたままお手入れをしない
誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部分が飛び出して、けがをすることがあります。



指示

- 電池の液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す
万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください
失明の原因になります。

子どもの事故を防ぐために (感電・けがのおそれ)



禁止

- 電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
また、乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。

警告

漏電、ショートによる火災を防ぐために (感電・発火・火災のおそれ)



水ぬれ禁止

- 水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電・発火のおそれがあります。



禁止

- 電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かない
電源コードを引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、ステップルや釘などで固定しない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 単相交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。
- 電池は誤った使い方をしない
* 指定以外の電池を使わない。 * 加熱・分解したり火の中に入れてたりしない。
* (+) と (-) は逆に入れない。 * ネックレスなどの金属物といっしょにしない。
液もれ・発熱・発火・破裂などの原因となります。



指示

- 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

注意

けがを防ぐために



接触禁止

- ガードの中や可動部へ指などを入れない
けがをするおそれや故障などの原因になります。
- 運転中は扇風機の向き (上下左右方向) や位置を変えない
けがをするおそれや故障などの原因になります。



禁止

- 風を長時間、からだにあてない
健康を害することがあります。
- 髪をガードに近づけすぎない
髪が巻き込まれけがをするおそれがあります。



指示

- 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

安全上のご注意 つづき

⚠ 注意

漏電、ショートによる火災を防ぐために (感電・発火・火災のおそれ)



電源プラグを
抜く

- 使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

- 電池を廃棄、保存する場合は (+)(-) 端子部をテープなどで絶縁する
電池の発熱・破裂・発火の原因になります。

設置場所に関するご注意



禁止

- 次の場所では使わない
* ガスレンジなどの近く * 引火性のあるところ * 雨や水しぶきのかかるところ
炎の立ち消え、火災・感電の原因になります。
- 油、ほこり、溶剤や薬品などのつきやすい場所や強い紫外線の当たる場所では使わない
破損・変形・故障などの原因になります。
- 障害物のそばや不安定な場所では使わない
転倒・破損・故障などの原因になります。



指示

- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離す
映像の乱れ、雑音発生の原因になります。

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

- **高温、高湿、水のかかる場所、火気の近くでは使わない**
変色・変形・感電・故障などの原因になります。
- **製品を引きずらない**
畳、床面などに傷をつけるおそれがあります。
- **フローリング床のワックス掛けをした後は、ワックスが充分乾いてから本体を置く**
跡が付いたり、ワックスが剥がれることがあります。
- **長時間直射日光に当てない**
変色などの原因になります。
- **殺虫剤などをかけたりしない**
変質・破損などの原因になります。
- **横を向いている扇風機を無理に正面に向けない**
破損・故障などのおそれがあります。
- **羽根にはり付けてある羽根注意ラベルをはがさない**
羽根注意ラベルは、法による表示ですのではがさないでください。
- **リモコン受信部をかくさない**
障害物があると、リモコンによる操作ができなくなります。
- **リモコンの取り扱いを大切に**
踏んだり、落としたり、水をかけたりしないでください。破損・故障の原因になります。
- **リモコンを長時間使わない時は、電池を取り出す**
液もれによる故障の原因になります。
- **長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。**
(運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると電力を消費します)
- **運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は「切」になります。始めから操作をやり直してください。**

愛情点検



長年ご使用の扇風機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

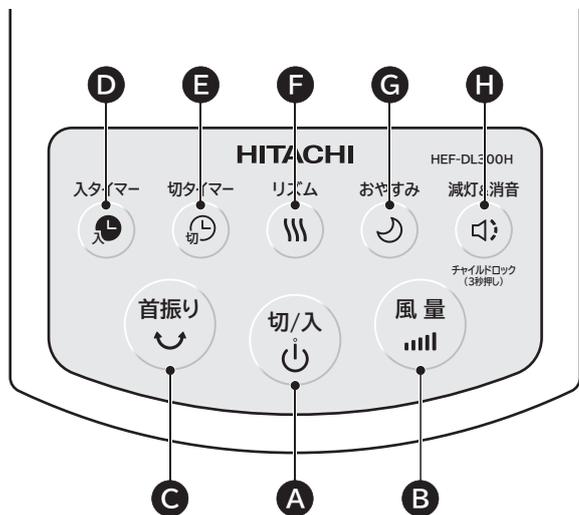
ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

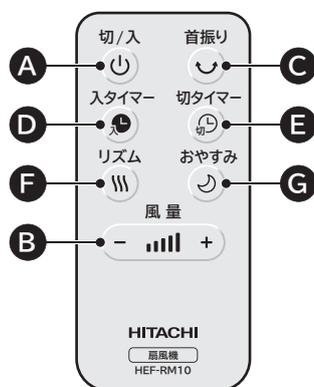
操作部と表示部

操作部・表示部

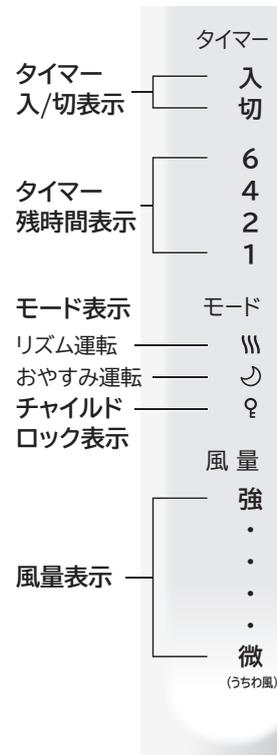
スタンドインジケーター



本体
HEF-DL300H



リモコン
HEF-RM10



A 切／入	運転の切・入を設定します。
B 風量	微～強の6段階で風量を選択できます。
C 首振り	首振りの開始、停止を設定します。
D 入タイマー	タイマー時間を選択できます。(1・2・4・6時間)
E 切タイマー	※入・切タイマーは同時設定できません
F リズム	リズム運転を設定します。
G おやすみ	おやすみ運転を設定します。
H 減灯&消音	減灯と操作音の消音を設定します。 ※リモコンでは減灯&消音は設定できません
チャイルドロック	チャイルドロックを設定します。※3秒長押し ※リモコンではチャイルドロックは設定できません

運転のしかた

運転をする **A**

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 交流100Vのコンセントに、根元までしっかりと差し込みます。

2 運転するときは を押す

- 押すごとに「入」・「切」に切り替わります。

※前回ご使用の風量とモードで運転開始します。

(運転開始の数秒間はモーターの回転を安定させるため風量「3」で開始します。
またモーターから「カチカチッ」等の音がしますが異常ではありません)

※電源プラグを抜かれた場合は風量「3」で運転開始します。

ご注意

- 羽根をつけずに運転すると故障の原因になります。

風量 **B** の設定

1 運転中に を押し、お好みの風量に設定します



※リモコンの+ボタンは、押すごとに風量が切り替わります。

2 表示部に設定した風量が表示されます

※電源プラグを抜かれた場合は風量「3」で運転開始します。



首振り **C** の設定

1 運転中に を押すごとに「首振り開始」「首振り停止」を行います

- 首振り角度は左右75°です。

※首振り運転時に本体内部からモーター音等がしたり、首振り動作が一定ではない場合がありますが異常ではありません。

運転のしかた つづき

入タイマー ㊦ の設定

お好みの時間に合わせ、運転を開始できます

1 運転中に  を押し、
入時間を選択します



- ※  を押しごとに時間が切り替わります。
- ※入時間選択後、約10秒で入時間が決定され、運転を停止します。
- ※入時間決定中は  と  のみ操作可能です。
- ※設定時間は、現在時刻をスタートとしています。
- ※タイマー設定時間は、目安時間です。
- ※入時間を変更する場合は、切・入ボタンで運転を停止・再開し、入時間を選択しなおしてください。

2 表示部に入時間が表示されます

- 設定時間になると、運転を開始します。

※入タイマーで運転を開始した場合の風量は「2」で開始し、約2時間後に自動で停止します。



切タイマー ㊧ の設定

お好みの時間に合わせ、運転を停止できます

1 運転中に  を押し、
切時間を選択します



- ※  を押しごとに時間が切り替わります。
- ※切時間選択後、約10秒で切時間が決定されます。
- ※設定時間は、現在時刻をスタートとしています。
- ※タイマー設定時間は、目安時間です。
- ※切時間を変更する場合は、切・入ボタンで運転を停止・再開し、切時間を選択しなおしてください。

2 表示部に切時間が表示されます

- 設定時間になると、運転を停止します。



警告



接触禁止

- 入タイマー設定中は、羽根・ガードに触れない
羽根が回り始め、けがの原因になります。

リズム運転 の設定

1 運転中に  を押し、設定します

2 表示部にリズム運転が表示されます

●再度押すと解除できます。

運転動作

●微～強の各風量で、モーターの回転数を一定の周期で変化させてリズムカルに運転します。



おやすみ運転 の設定

1 運転中に  を押し、設定します

※「入タイマー」・「切タイマー」を設定している場合、「おやすみ運転」は設定できません。
一度「入タイマー」・「切タイマー」を解除してください。

2 表示部におやすみ運転が表示されます

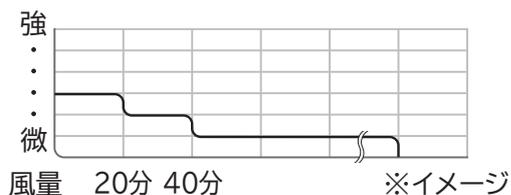
●再度押すと解除できます。



運転動作

- 設定すると右図の風量「3」で運転開始します。
 - お好みに合わせて風量が切り替えられます。設定された風量から約20分ごとに自動的に風量を下げます。(右図参照)
 - 設定後約2時間で運転停止します。
切タイマー時間の切り替えができます。
入タイマー設定はできません。
 - 切タイマーはおやすみ運転設定後に切り替えてください。先に切タイマーを設定するとおやすみ運転の設定はできません。
 - 切タイマーを決定後に時間を変更する場合は一度運転を停止して再設定してください。
- ※リズム運転と同時設定はできません。
■切・入タイマーの設定は「運転のしかた」→(P.14)を参照してください。

風量の下がり方
(設定:おやすみ運転の場合)



運転のしかた つづき

減灯&消音^Hの設定

1 運転中に^Hを押し、減灯&消音を設定します

※リモコンでは減灯&消音は設定できません。

2 運転表示ランプが暗くなり、操作音が消えます

- 再度押すとピッと音がして解除できます。
(設定時は音は鳴りません)

※解除すると元に戻ります。

※運転表示ランプは明るさを制御しているので、ちらつく場合がありますが故障ではありません。



チャイルドロック^Hの設定

チャイルドロックを設定すると、「切」以外のすべての操作ができません

1 運転中に^Hを約3秒間押し、ピッと音がして「チャイルドロック」を設定します

※リモコンではチャイルドロックは設定できません。

2 表示部にチャイルドロックが表示されます

- 再度約3秒間押しとピッと音がして解除できます。

※次回運転を開始する時は、チャイルドロックを解除してください。

※安全上、「切」ボタンのみ操作できるようになっています。



ご注意

- 運転停止時に「風量」「リズム」「タイマー」などのスイッチボタンを押しても作動しません。
- 運転中の停電や電源プラグが抜けた場合は、すべて最初からの操作になります。
- 万一、操作不能になってしまった場合は、いったん電源プラグをコンセントから引き抜き、再び差し込んでから操作してください。

お願い

- 風向を調節するとき、調節角度以上に無理に動かさないでください。故障の原因になります。→ (P.3)
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。また、破損の原因になることがあります。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

- ガード、羽根は組み立てと逆の順序で取り外し、汚れは水またはうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。「組み立てかた」→(P.4)を参照してください

ご注意

- 運転直後はお手入れしないでください。モーター軸が高温になっていますので、火傷をするおそれがあります。
- 中性洗剤をご使用の場合、汚れを落としたあと、洗剤が残らないように十分洗剤をふき取ってください。洗剤が残っていると、プラスチックの破損によりけがをするおそれがあります。
- 前ガードは水洗いやつけおき洗いをしないでください。ガード中心部に水が浸入するおそれがあります。
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けしないでください。モーター軸に錆が発生し、羽根が外せなくなるおそれがあります。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使わないでください。プラスチックや塗装面が変色したり、破損によりけがをするおそれがあります。
- 化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。
- プラスチック部分に油をつけないでください。変色したり、破損によりけがをするおそれがあります。

保管のしかた

- 組み立てと逆の順序で分解し、モーター軸は、よく汚れをふき取ってからうすくマシン油などを塗り、モーター軸カバーを取り付けます。お買い求めになったときの包装箱に収納し、湿気の少ないところに保管してください。また、電源コードは緩衝材と製品に挟まれないように、ビニール袋を被せて収納してください。「収納のしかた」→(P.18)および包装箱の表示を参照してください。

ご注意

- 扇風機が横を向いているときは、無理に戻さず、首振り運転をして正面に向けてください。無理に戻すと故障の原因になります。

お願い

- 羽根、ガードなどの汚れは「お手入れのしかた」を参照してお手入れを行ったあと保管してください。

警告



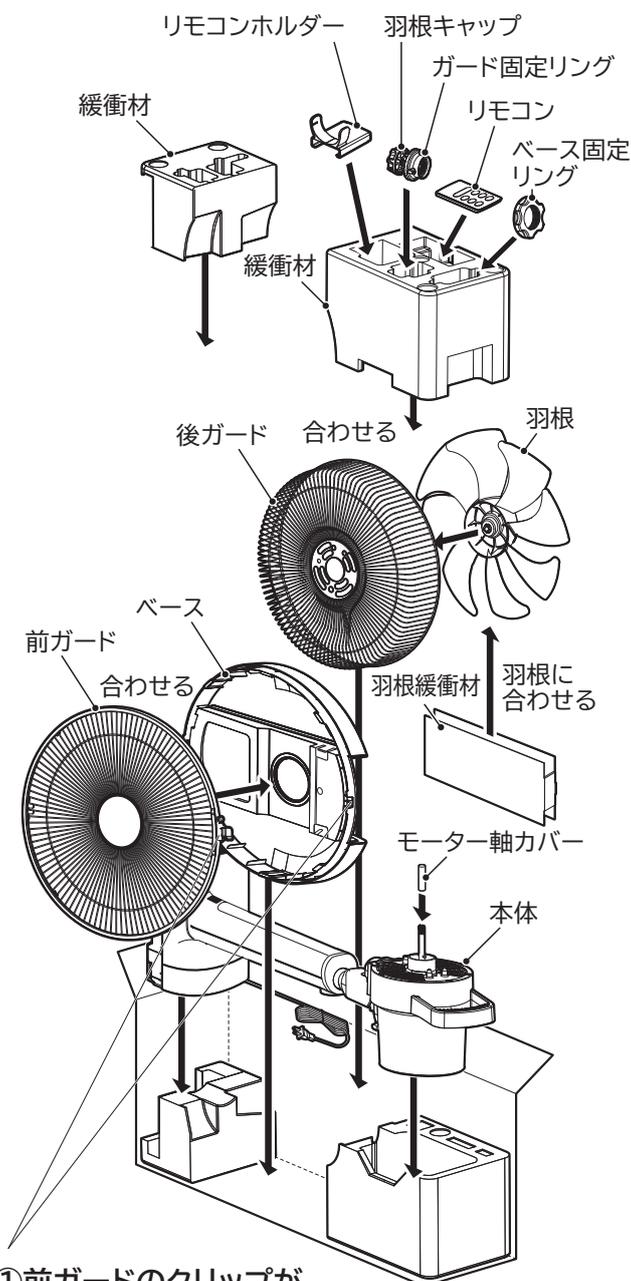
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る。ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。



- 羽根、ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない
モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
- 羽根、ガードを付けずに運転しない
モーターが回転し、けがの原因になります。
- ベースを付けずに運転しない
転倒し、けがの原因になります。
- ベースとスタンドなどを取り外す際は、電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがをすることがあります。

収納のしかた

- リモコンから電池を外してください。
- 組み立てと逆の手順で分解してください。
(「組み立てかた」→(P.4)を参照してください)



- ①前ガードのクリップがベース後側の溝にはまる様合わせる。
- ②前ガードのフックがベース前側の溝にはまっていることを確認する。

ご注意

- 扇風機が横を向いているときは、無理に戻さず、首振り運転をさせて正面に向けてください。無理に戻すと故障の原因になります。

お願い

- 羽根、ガードなどの汚れは「お手入れのしかた」→(P.17)を参照してお手入れを行ったあと保管してください。

収納の手順

1

前ガードを外す

電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからツメを持ってクリップを外し、前ガードを上から押さえてガードリングの取っ手を手前に引きます。



ご注意

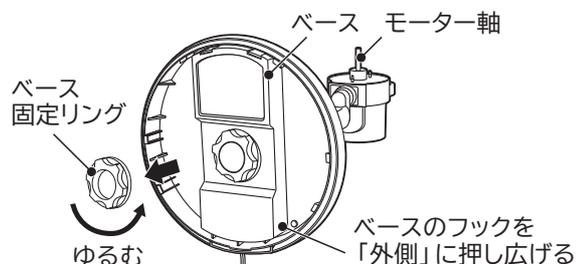
取っ手を持って手前に引く

- クリップをもって手前に引かないでください。クリップが外れたり、破損するおそれがあります。

2

ベースを外す

モーター軸を上にしておいてから、ベース固定リングを「ゆるむ」の方向に回して外します。



ベースのフックを2か所「外側」に押し広げて、ベースを手前側に引いて外してください。

ご注意

- ベースを無理に取り外さないでください。破損の原因になります。
- モーター軸を下にしないでください。不安定になり、故障の原因になったり床面を傷つけるおそれがあります。

3

清掃します。

モーターカバーのほこりや汚れをよく拭き取ってください。

4

収納します。

左記の図を参考に収納してください。

お困りのとき

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下記を参考にしてもう一度確認してみてください。

症状	ここを確認してください	直しかた
首振り動作が一定ではない	●左右への首振り中に動作が一定ではなく、一瞬止まったりする場合があります。	故障ではありません。
低速運転時や首振り運転中の音が気になる	●モーターや首振りモーターなどの運転音です。	故障ではありません。
風量が変わるときや設定風量によっては「ウォーン」等の音がする	●モーターの回転を制御するときが発生する特有の音です。	故障ではありません。
運転開始後「カチカチッ」等の音がする	●運転開始の数秒間はモーターから音がします。	故障ではありません。
羽根・ガード・ベースなどに小さいキズがある	●全数組み立てて運転確認をしているため、多少キズがつく場合があります。	故障ではありません。
羽根が回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●「切/入」ボタンは押しましたか？ ●ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？ ●チャイルドロックを設定しませんでしたか？ ●運転中、ガード内に何か異物が入り、羽根の回転を強制的に止めていませんか？ 	<p>電源プラグをコンセントに差し込んでください。 「切/入」ボタンを押してください。</p> <p>チャイルドロックを解除してください。 → (P.16)</p> <p>羽根の回転を止めているものを取り除き、電源プラグをコンセントから抜き再度入れなおして操作、または約10秒以上経ってからリモコン/本体操作してください。 ※異物を取り除いて、すぐに操作入力しても羽根は回転しません。 モーターの安全制御で回転を止めておりますので、約10秒以上経ってから操作してください。</p>
リモコンで動作しない (ときどき動作しない)	<ul style="list-style-type: none"> ●「切/入」ボタンは押しましたか？ ●リモコンの電池が消耗していませんか？ ●電池の入れかた(⊕⊖の方向)が間違っていないですか？ ●チャイルドロックを設定しませんでしたか？ ●インバーター照明器具を使用している部屋や、リモコン受信部に直射日光などの強い光が当たる場所で使用していませんか？ ●リモコン送信部と受信部の間に障害物はありませんか？ 	<p>「切/入」ボタンを押してください。 電池を交換してください。</p> <p>電池を正しく入れ直してください。</p> <p>チャイルドロックを解除してください。 → (P.16)</p> <p>本体向きや位置を変えてください。</p> <p>障害物を取り除いてください。</p>

お困りのとき つづき

症状	ここを確認してください	直しかた
運転中の音が異常に大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●羽根はしっかりと取り付けられていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けられていますか？ ●羽根とガードが当たっていませんか？ 	<p>羽根をしっかりと取り付けてください。→ (P.5)</p> <p>ガードをしっかりと取り付けてください。→ (P.5)</p>
自動で運転停止した	<ul style="list-style-type: none"> ●切タイマーを設定しませんでしたか？ 	<p>切タイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。→ (P.14)</p>
首振りの向きが左右どちらかにかたよっている	<ul style="list-style-type: none"> ●風向調節をしていませんか？ 	<p>正面に直してください。正面を中心に左右に約20°調節できます。→ (P.3)</p>
LEDランプが暗くなり、操作音がしない	<ul style="list-style-type: none"> ●減灯&消音を設定しませんでしたか？ 	<p>減灯&消音ボタンを押して解除してください。→ (P.16)</p>
操作部などの一部があたたかい	<ul style="list-style-type: none"> ●「切/入」ボタンを含む操作ボタンや表示は正常ですか？ 	<p>故障ではありません。内部の基板の熱量の影響です。</p>

仕様・性能

型式	HEF-DL300H
定格電圧	100 V (50/60Hz)
定格消費電力※1※2	21W
待機電力	0.5W
最大風速※1	170m / min
風量※1	41m ³ / min
外形寸法	幅371×奥行371×高さ735~900 mm
質量	約3.8kg
コードの長さ	約1.7m
風量設定	微~強の6段階
切・入タイマー	1・2・4・6時間
首振り角度	上方向:約20°、下方向:約10°、左右方向:約75°
リモコン	あり

※1 風量最大運転時の値です。

※2 首振り運転時の値です。

日立家電メンバーズクラブのご案内

※マイページ(日立の家電品お客様サポート)は、日立家電メンバーズクラブに名称を変更しました。

日立家電メンバーズクラブのMy家電に製品をご登録(無料)いただくと、スマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■My家電への製品登録

①コードを読み取る



②画面の案内に従って 家電品を登録※1



※1 家電品の登録には製品型式や製造番号が必要です。保証書または製品本体をご確認ください。

・コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

■日立家電メンバーズクラブ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。

保証とアフターサービス

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります



【設計上の標準使用期間】 10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本産業規格 (JIS C9921-1) による

環境条件	電圧	単相交流100V
	周波数	50Hz / 60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置(取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速)(取扱説明書による)
想定時間等	1日あたりの使用時間	8(h / 日)
	1日使用回数	5(回 / 日)
	1年間の使用日数	110(日 / 年)
	スイッチ操作回数	550(回 / 年)
	首振運転の割合	100(%)

注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

長期使用についてのご相談は日立長期使用製品安全表示制度窓口へ

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

TEL 0120-3121-11

携帯電話 050-3155-1111 (有料)

(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日) 年末年始は、休ませていただきます。

●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

保証書(裏表紙)

●この商品は保証書付きです。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げから一年間です。

修理を依頼されるときは(持込修理)

「お困りのとき」→(P.19)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

[持込修理対象商品]

なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

この扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

部品について

●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

●商品のデザイン、定格、仕様、補修用性能部品等は改良等のため、予告なく一部変更することがあります。

ご転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」→(P.24)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。	部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
-----	--	-----	--

ご相談窓口

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。
または「日立家電品についてのご相談窓口」(下記)にご相談ください。

ご相談の前に本取扱説明書の「お困りのとき」をご確認ください。また日立家電品サポートページで、「よくあるご質問」や「使いかた動画」など各種情報をご覧いただけます。

「日立家電品サポートページ」はこちら 

※下方の内容は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。

[日立家電 サポート](#) 



製品情報や使いかたに関するご相談

機能・操作・設定などのご相談ができます。
電話のほかLINE、チャット、メールなど様々な
お問い合わせ方法を準備しております。
詳しくは日立家電品サポートページをご覧ください。

TEL 0120-8802-28

携帯電話 050-3152-2828 (有料)

FAX 050-3135-2134 (有料)

■受付時間 9:00~17:30(月~金)
(土日・祝日、年末年始は休業)

修理に関するご相談

修理のご依頼やご相談ができます。
24時間、修理のご依頼ができる

「Web修理受付」はこちら 

[日立家電 修理web](#) 

TEL 0120-3121-68

携帯電話 0570-0031-68 (有料)

FAX 0570-2006-57 (有料)

■受付時間 9:00~18:00(月~土)
9:00~17:00(日・祝日)



部品の ご購入に ついて

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または「パーツショップ」へご依頼ください。

<https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/pages/parts.aspx>

[日立家電 部品](#) 



- 通話内容の確認と対応品質向上のため、録音させていただきます。
- 予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。
- 営業時間外やお電話が繋がりにくい場合は、時間を変えてお掛け直しをお願いします。
- 修理ご依頼の前に、当社の修理対応方針につきまして、「修理ご利用規約」をご覧ください。

[日立修理ご利用規約](#) 



【ご相談窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】

- 個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。
- 当社の個人情報保護方針につきましては、<https://corp.hitachi-gls.co.jp/utility/privacy>をご覧ください。
※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。
- 製品のサービスの提供、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品やサービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

愛情点検



長年ご使用の扇風機の点検を!

●扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年間です。

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか?

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。●回転中に異常な音や振動がする。●モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。●その他の異常がある。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。●電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

ご使用中
止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

廃棄について 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

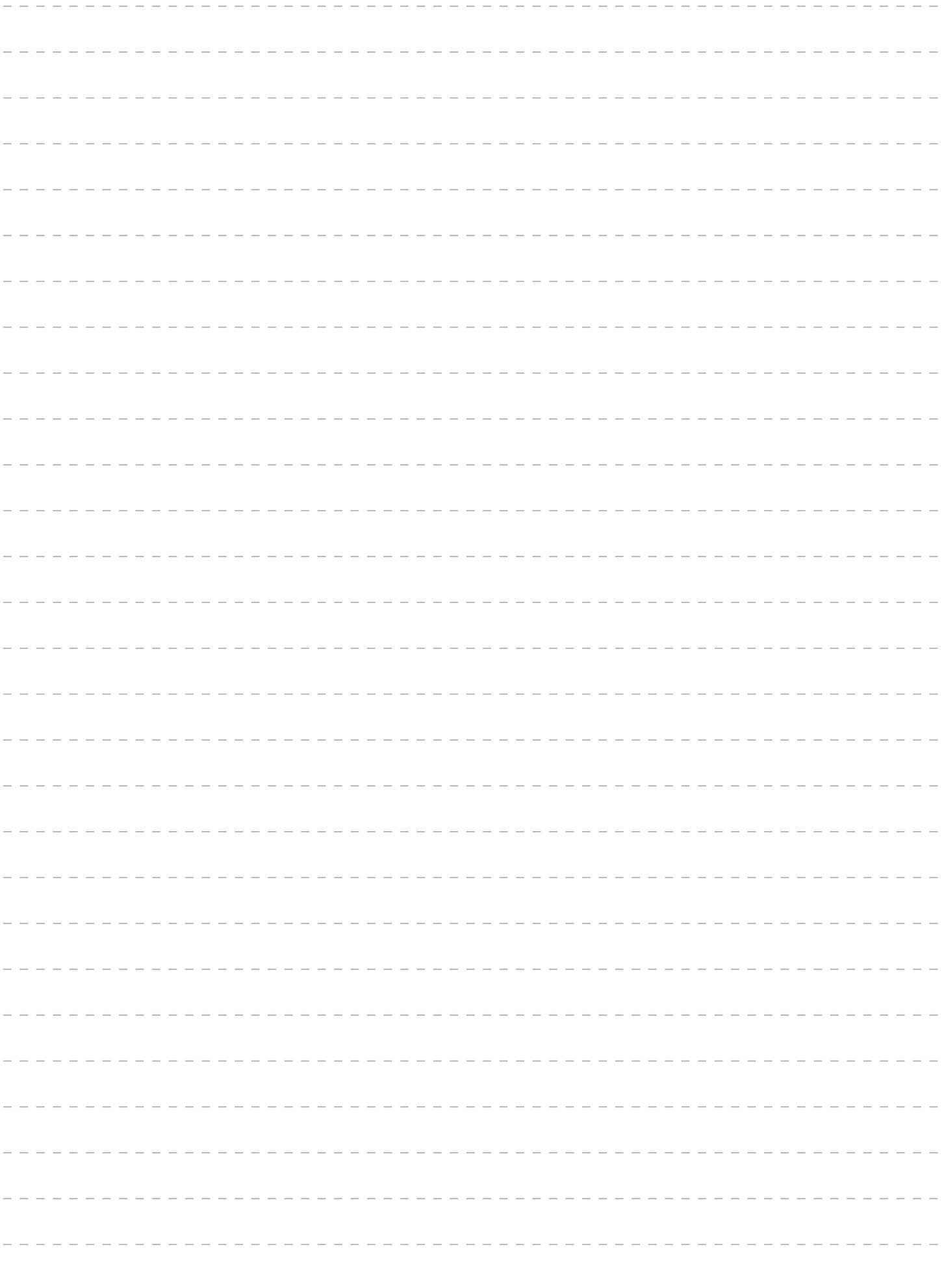
MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.



日立扇風機 保証書 持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

型式	HEF-DL300H		※お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	本体：1年
※お客様	ご住所	_____		
	お名前	_____ 様		
	電話	(_____)		
※販売店	ご住所	_____		
	お名前	_____ 様		
	電話	(_____)		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 業務用に使用されて生じた故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口→(P.24)にご相談ください。
 - 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口→(P.24)にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「保証とアフターサービス」→(P.22)をご覧ください。

修理メモ

日立グローバルライフソリューションズ株式会社 〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

お問合せ先：「修理に関するご相談窓口」0120-3121-68、携帯 0570-0031-68

詳しくは「保証とアフターサービス」のページをご覧ください。